



セキュリティホワイトペーパー

オフィス宅ふあいる便の ISO/IEC 27017:2015 に  
基づくセキュリティ要求事項への取り組み

第 1.0 版

2021 年 11 月 25 日

株式会社オージス総研

# 目次

---

## はじめに

本書の目的

本書の適用範囲

本書の構成について

ISMS クラウドセキュリティ認証について

ISMS クラウドセキュリティ認証の対象組織について

オフィス宅ふぁいる便サービスについて

    オフィス宅ふぁいる便とは

    責任分界点と ISMS クラウドセキュリティ適用範囲

## JIS Q 27017:2016 (ISO/IEC 27017:2015) 要求事項に対する取り組み

### 5.1.1 情報セキュリティのための方針群

    クラウドサービスカスタマ/クラウドサービスプロバイダ

### 6.1.1 情報セキュリティの役割及び責任

    クラウドサービスカスタマ

    クラウドサービスプロバイダ

### 6.1.3 関係当局との連絡

    クラウドサービスカスタマ

    クラウドサービスプロバイダ

### CLD.6.3.1 クラウドコンピューティング環境における役割及び責任の共有及び分担

    クラウドサービスカスタマ

    クラウドサービスプロバイダ

### 7.2.2 情報セキュリティの意識向上, 教育及び訓練

    クラウドサービスカスタマ/クラウドサービスプロバイダ

### 8.1.1 資産目録

    クラウドサービスカスタマ/クラウドサービスプロバイダ

### CLD.8.1.5 クラウドサービスカスタマの資産の除去

    クラウドサービスカスタマ

    クラウドサービスプロバイダ

### 8.2.2 情報のラベル付け

    クラウドサービスカスタマ

    クラウドサービスプロバイダ

### 9.1.2 ネットワーク及びネットワークサービスへのアクセス

- クラウドサービスカスタマ
- 9.2.1 利用者登録及び登録削除
  - クラウドサービスプロバイダ
- 9.2.2 利用者アクセスの提供 (provisioning)
  - クラウドサービスプロバイダ
- 9.2.3 特権的アクセス権の管理
  - クラウドサービスカスタマ
  - クラウドサービスプロバイダ
- 9.2.4 利用者の秘密認証情報の管理
  - クラウドサービスカスタマ
  - クラウドサービスプロバイダ
- 9.4.1 情報へのアクセス制限
  - クラウドサービスカスタマ
  - クラウドサービスプロバイダ
- 9.4.4 特権的なユーティリティプログラムの使用
  - クラウドサービスカスタマ
  - クラウドサービスプロバイダ
- CLD.9.5.1 仮想コンピューティング環境における分離
  - クラウドサービスプロバイダ
- CLD.9.5.2 仮想マシンの要塞化
  - クラウドサービスカスタマ/クラウドサービスプロバイダ
- 10.1.1 暗号による管理策の利用方針
  - クラウドサービスカスタマ
  - クラウドサービスプロバイダ
- 10.1.2 鍵管理
  - クラウドサービスカスタマ
- 11.2.7 装置のセキュリティを保った処分又は再利用
  - クラウドサービスカスタマ
  - クラウドサービスプロバイダ
- 12.1.2 変更管理
  - クラウドサービスカスタマ
  - クラウドサービスプロバイダ
- 12.1.3 容量・能力の管理
  - クラウドサービスカスタマ

- クラウドサービスプロバイダ
- CLD.12.1.5 実務管理者の運用のセキュリティ
  - クラウドサービスカスタマ
  - クラウドサービスプロバイダ
- 12.3.1 情報のバックアップ
  - クラウドサービスカスタマ
  - クラウドサービスプロバイダ
- 12.4.1 イベントログ取得
  - クラウドサービスカスタマ
  - クラウドサービスプロバイダ
- 12.4.3 実務管理者及び運用担当者の作業ログ
  - クラウドサービスカスタマ
- 12.4.4 クロックの同期
  - クラウドサービスカスタマ
  - クラウドサービスプロバイダ
- CLD.12.4.5 クラウドサービスの監視
  - クラウドサービスカスタマ
  - クラウドサービスプロバイダ
- 12.6.1 技術的ぜい弱性の管理
  - クラウドサービスカスタマ
  - クラウドサービスプロバイダ
- 13.1.3 ネットワークの分離
  - クラウドサービスカスタマ
  - クラウドサービスプロバイダ
- CLD.13.1.4 仮想及び物理ネットワークのセキュリティ管理の整合
  - クラウドサービスプロバイダ
- 14.1.1 情報セキュリティ要求事項の分析及び仕様化
  - クラウドサービスカスタマ
  - クラウドサービスプロバイダ
- 14.2.1 セキュリティに配慮した開発のための方針
  - クラウドサービスカスタマ
  - クラウドサービスプロバイダ
- 15.1.1 供給者関係のための情報セキュリティの方針
  - クラウドサービスカスタマ

15.1.2 供給者との合意におけるセキュリティの取扱い

クラウドサービスカスタマ

クラウドサービスプロバイダ

15.1.3 ICT サプライチェーン

クラウドサービスプロバイダ

16.1.1 責任及び手順

クラウドサービスカスタマ

クラウドサービスプロバイダ

16.1.2 情報セキュリティ事象の報告

クラウドサービスカスタマ

クラウドサービスプロバイダ

16.1.7 証拠の収集

クラウドサービスカスタマ/クラウドサービスプロバイダ

18.1.1 適用法令及び契約上の要求事項の特定

クラウドサービスカスタマ

クラウドサービスプロバイダ

18.1.2 知的財産権

クラウドサービスカスタマ

クラウドサービスプロバイダ

18.1.3 記録の保護

クラウドサービスカスタマ

クラウドサービスプロバイダ

18.1.5 暗号化機能に対する規制

クラウドサービスカスタマ

クラウドサービスプロバイダ

18.2.1 情報セキュリティの独立したレビュー

クラウドサービスカスタマ

クラウドサービスプロバイダ

別紙 1 オフィス宅ふあいる便文書一覧

改訂履歴

# はじめに

---

## 本書の目的

本書ではオージス総研（以下、弊社）の提供するオフィス宅ふぁいる便サービス（以下、本サービス）の「JIP-ISMS517-1.0（ISO/IEC27017:2015）に基づく ISMS クラウドセキュリティ認証に関する要求事項への取り組み」についてご確認いただくことを目的としております。

## 本書の適用範囲

弊社の提供するオフィス宅ふぁいる便サービスが本書の適用範囲となります。

## 本書の構成について

本書では、「JIS Q27017:2016（ISO/IEC 27017：2015）クラウドサービスのための情報セキュリティ管理策の実践の規範」にて求められているクラウドサービス固有の管理策について、その要求事項の項番に沿うよう記載しております。

項番が「CLD」の箇条については「附属書 A（規定）クラウドサービス拡張管理策集」として、追加の管理目的、管理策及び実施の手引が記載された要求事項です。

本書では、閲覧する際の利便性を考慮し、それらの拡張管理策についても項番に沿って記載しております。

また、各要求事項では「クラウドサービスカスタマ」「クラウドサービスプロバイダ」それぞれに対する管理策が求められるため、箇条を分けて記載しております。

## ISMS クラウドセキュリティ認証について

ISMS クラウドセキュリティ認証は、ISMS 審査基準（ISO/IEC27001）に適合した組織において、その適用範囲内に含まれるクラウドサービスの提供または利用に関して、クラウドサービス向けの国際規格である ISO/IEC27017:2015（国内規格は JIS Q27017:2016）に規定されるクラウドサービス固有の管理策が実施されていることを認証する制度です。

ISMS クラウドセキュリティ認証の詳細については、情報マネジメントシステム認定センターの Web サイトをご参照ください。

参考：

情報マネジメントシステム認定センター ISMS 適合性評価制度  
(<https://isms.jp/isms.html>)

## ISMS クラウドセキュリティ認証の対象組織について

ISO/IEC 27017 は「クラウドサービスを提供する組織」（以下、クラウドサービスプロバイダ）と「クラウドサービスを利用する組織」（以下、クラウドサービスカスタマ）が対象となります。クラウドサービスプロバイダの中で、他社のクラウドサービスを利用してサービスを提供している組織は、クラウドサービスプロバイダとクラウドサービスカスタマの両方が該当します。

弊社ではオフィス宅ふぁいる便サービス提供における「クラウドサービスカスタマ」「クラウドサービスプロバイダ」について以下の通り定義し、ISMS クラウドセキュリティ認証を取得しております。

### クラウドサービスカスタマ

弊社がオフィス宅ふぁいる便サービスを提供するために Amazon Web Services（以下、AWS）を利用しております。

### クラウドサービスプロバイダ

弊社がクラウドサービスであるオフィス宅ふぁいる便を開発、運用及び保守し、サービス提供しております。

## オフィス宅ふあいる便サービスについて

### オフィス宅ふあいる便とは

オフィス宅ふあいる便は、"メールよりも安全に大容量ファイルの送信が行える"をコンセプトに企業内で取り扱われる様々な重要データ・ファイルを安全に社外のお客様にお届けする、企業での利用に特化した法人向けファイル転送サービスです。

本サービスの詳細については、オフィス宅ふあいる便サービス紹介ページをご参照ください。

### オフィス宅ふあいる便サービス紹介

(<https://www.ogis-ri.co.jp/pickup/takufile/>)

#### 責任分界点と ISMS クラウドセキュリティ適用範囲

本サービスの責任分界点及び弊社が ISMS クラウドセキュリティ「クラウドサービスプロバイダ」「クラウドサービスカスタマ」として責任を持つ範囲は以下の通りです。

利用者データ (アカウント、設定、アップロードファイル)

アプリケーション

**この資料にご興味をお持ちいただけましたら、  
是非ダウンロードをお申し込みください。**

一度お申込みいただくと、オフィス宅ふあいる便に  
関連したすべての掲載資料をダウンロードいただけます。

**お申し込み**